

the most beautiful  
villages  
in japan

松崎町は「日本で最も  
美しい村」連合に加盟  
しています。



広報

2017  
(平成29年)

# まつざき 12

No.643



秋まつり「子ども相撲」(11/3)  
— 共盟社 (宮内区)・伏青会 (伏倉区) —

# 齋藤町長 2期8年の任期 お疲れ様でした。

## 平成の花とロマンのふるさとづくり

齋藤町長は、平成21年12月6日に行われた町長選挙に当選してから今日まで、

松崎町の舵取りを担ってききました。これまで大切に育まれてきた資源を生かし、

町を「全町まるごと自然体験学校」とし、「先生は町民である」として、まちづくりを推進してきました。

ここで8年間の主な事業を振り返ります。

◎「**棚田サミット**」の開催から「**日本で最も美しい村**」連合の加盟へ

平成22年10月22、23日に、全国から棚田保全に取り組む人たちが集まり、当町で「第16回全国棚田(千枚田)サミット」が開催されました。このとき、子どもから大人まで町民一丸となつて行ったおもてなしや、地産地消を体感できるメニュー

を提供したことが評価され、

「静岡県コンベンションおもてなし大賞2011」において最優秀賞である「静岡県知事賞」を受賞しました。

また、このサミットでの川勝県知事の基調講演が縁で、平成24年2月に設立された「ふじのくに美しく品格のある邑づくり連合」の会長を齋藤町長が務め、石部の棚田も登録されました。

そして、平成25年10月開催のNPO法人「日本で最も美しい村」連合のフェスティバルにおいて、「石部の棚田」、「なまこ壁の建造物」、「塩漬けの桜葉」を未来に残したい地域資源として、連合への加盟が承認されました。

その後、平成28年10月には、「日本で最も美しい村」連合のフェスティバルを当町で

開催することができました。

◎**伊豆の長八生誕200年祭** 平成27(2015)年は、入江長八翁生誕200年の年でした。このことに併せて、吉祥寺美術館や常葉美術館で、長八作品の巡回展を行ったり、「長八シンポジウム」を開催する等、先

人の偉業を改めてPRしました。

◎「**松崎幼稚園**」・「**聖和保育園**」落成

平成21年12月6日 任期満了に伴う松崎町長選挙にて初当選

3月28日 松崎蔵づくり隊「夢の蔵」落成

4月1日 中川小学校と松崎小学校が統合

10月22日 「第16回全国棚田(千枚田)サミット」を当町で開催「棚田が結ぶ、ふるさとの絆～みんなで創ろう！百笑の里～」

6月29日 第16回全国棚田(千枚田)サミットが「静岡県コンベンションおもてなし大賞2011」で「最優秀賞(静岡県知事賞)」を受賞

2月23日 「世界でいちばん富士山がきれいに見える町」宣言「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合設立

4月1日 松崎・三浦幼稚園を「松崎幼稚園中川園」と「松崎幼稚園岩科園」に統合

3月9日 「IZU TRAIL Journey」が松崎新港をスタートに初開催

10月4日 「日本で最も美しい村」連合に加盟

12月1日 任期満了に伴う松崎町長選挙にて当選(2期目へ)

9月 「長八200年祭」開催

10月13日 常葉大学と包括連携協定締結

2月27日 「聖和保育園」落成式

3月23日 西区避難タワー完成

8月4日 白石康次郎氏を松崎町観光大使に任命

10月6日 「日本で最も美しい村」連合フェスティバルを当町で開催

3月25日 「松崎幼稚園」落成式

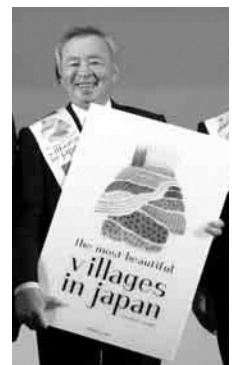
平成28年2月、老朽化が進んでいた「聖和保育園」が旧中川小学校跡地に新しく完成しました。また翌年の平成29年3月、子どもたちが安全に学び、成長できるように、旧岩科小学校跡地に新しく「松崎幼稚園」が完成しました。園舎は「なまこ壁」を用いた松崎らしいデザインです。

◎**西区に「津波避難タワー」**完成

平成25年度から準備を進めていた「津波避難タワー」が、平成28年3月に完成しました。可動式テント等を装備し、減災に備えます。

◎**白石康次郎氏を「観光大使」に任命**

平成28年8月、海洋冒険家の白石康次郎氏を「松崎町観光大使」に任命しました。白石氏から、貴重な海の体験を学ぶとともに、町をPRしていただきます。





# 松崎町功労者表彰

11月21日、環境改善センター研修室で、松崎町功労者表彰式を行いました。

この表彰は、松崎町表彰条例に基づき、町の政治や福祉等、各分野において、町の発展に寄与された方の功績をたたえるものです。受章された方々は次の通りです。

## 有功表彰

伏倉 藤池 恭子 さん  
ふし いけ ふういけ きょうこ

(元 民生委員児童委員)  
 多年にわたり、民生委員児童委員として、恵まれない家庭の保護指導、児童の健全育成に献身し、社会福祉の増進に貢献。

## 善行表彰

模範行為



表彰状を受け取る藤池さん

江奈 関 省二 さん  
えな せき しやうじ

多年にわたり、松崎海岸で清掃活動を継続し、地域の環境美化に貢献。

模範行為

江奈 石田 しげ子 さん  
えな いしだ しげこ

多年にわたり、松崎小学校の子どもたちに手作りのキーホルダーを寄贈し、子



平成29年度松崎町功労者表彰式にて

どもたちの交通安全の啓発に貢献。

観光振興への貢献

伊豆文サポート

多年にわたり、伊豆文邸の清掃・管理に携わり、なまこ壁の街並みを引き立たせるとともに、温かいおもてなしにより町の観光振興に貢献。

# 静岡県知事表彰受賞

「蔵ら」代表理事を務める青森千枝美さんが、「平成29年度静岡県知事表彰」を受賞しました。

この賞は、静岡県内で産業開発振興・社会福祉・治安維持等の分野において、社会・公共の発展のために大きく貢献した個人または団体に贈られます。

今年度、50の個人および団体が受賞し、青森さんは「地域活動・ボランティア等善行功労」の分野で、「長年にわたり、高齢者の働く場所づくりに尽力し、高齢者の自立支援や地域活性化に寄与した」功績が認められ、受賞となりました。

11月3日、静岡県庁で行われた表彰式に出席し、川勝平太静岡県知事から表彰状を授与されました。



表彰状を受け取る青森さん



【問合せ】

企画観光課（42）3964

## 半島地域等の 税制特例



町では、半島地域と過疎地域の安定的な就業機会の確保や産業振興の促進を図るため、町税の特例制度を創設しました。

特例とは、旅館業等を営む事業者（旅館業、製造業、農林水産物販売業、情報サービス業）が、半島振興対策実施地域や過疎地域内（松崎町は全域が該当）で、その事業に使用する設備（建物および付属設備、機械および装置等の減価償却資産）を新設または増設し、供用した場合に、町税（固定資産税）の軽減ができる制度です。（土地は取得から1年以内に建物の建設に着手した場合に対象）

なお、松崎町は半島地域と過疎地域が重複するため、いずれかの制度を選択することとなります。

企画観光課（42） 3964

### ○ 半島地域における特例

対象業種	旅館業 ・ 製造業			農林水産物販売業 情報サービス業等
	個人、資本金1,000万円以下の法人	資本金1,000万円超5,000万円以下の法人	資本金5,000万円超の法人	
取得要件	500万円以上の設備の新增設	1,000万円以上の設備の新增設	2,000万円以上の設備の新增設	500万円以上の設備の新增設
対象期間	平成29年4月1日以降に取得した設備が対象			
対象設備	機械・装置、建物・付属設備、建築物			
固定資産税の率	初年度 通常税率の10分の1、第2年度 通常税率の4分の1 第3年度 通常税率の2分の1			
その他	国税（所得税・法人税）の割増償却や県税（事業税・不動産取得税等）の軽減措置もあります。詳しくは町ホームページをご覧ください。			

### ○ 過疎地域における特例

対象業種	旅館業 ・ 製造業 ・ 農林水産物販売業
取得要件	2,700万円超の設備の新增設
対象期間	平成29年4月1日以降に取得した設備が対象
固定資産税の率	3年間課税免除

※設備の増設は、生産能力が従前よりも概ね30%以上増加した場合にのみ「増設」として税制特例を受けられます。既存設備の一部を新品に取り替えても生産能力の増加がなければ税制特例は適用されません。旅館業の場合は、客室数の増加により集客力が概ね30%以上増加した場合にのみ「増設」となります。

### ○ 対象業種

旅館業	○ ホテル営業	○ 旅館営業 等
製造業	○ 木材・木製品製造 ○ 食料品製造	○ 石油製品・石炭製品製造 ○ 金属製品製造 等
農林水産物等販売業	○ 酒小売業 ○ 野菜・果実小売業	○ 農畜産物・水産物卸売業 ○ パン・菓子小売業 等
情報サービス等	○ 有線放送業 ○ ソフトウェア業	○ ポータルサイト・サービス運営業 ○ コールセンター業 等

## 「まつねきマインドリーム2017発表会」

10月21日に、「まつざき  
マインドリーム2017発表  
会」を環境改善センター文  
化ホールで開催し、約10  
0人の方が参観しました。

この発表会は、町内に住  
む小・中・高校生が日常生  
活の中で町について感じた  
ことや、町がこうなったら  
住みやすい・帰って来たい  
という意見を発表すること  
で、より一層地域への愛着  
を深め、未来を担う子ども  
たちの町づくりに参加する  
意識の向上を図るという目  
的で昨年度から開催してい  
ます。

子どもながらも町の課  
題をよく捉えた発表が多く、  
人口問題、雇用の創出等、  
大人と変わらない視点で町  
を見ていることや町の魅力  
を感じていることが伝わっ  
てきました。また、「こん  
な町にしたい」「自分が松  
崎町のためにできることは  
何があるか」等、夢や希望  
のある発表や町のために力  
を尽くしたいという郷土愛

に満ちた発表もありました。  
講評に立った齋藤町長も町  
をより活性化させるための  
豊かなアイデアに感心し  
ていました。

実際に、このような発表  
会を通して語られた小学生  
や中高生の発表を参考にし  
て、町おこしを進めた事例  
はたくさんあります。また、  
こうした発表会を行うこと  
で、若い世代の柔軟な発想  
力が生かされ、町がますます  
活気に満ちた魅力ある町  
になっていくと思えます。  
さらに発表会をきっかけに  
町の現状に目を向けて、若  
い世代からお年寄りまでみ  
んなで町の将来について語  
り合う雰囲気や町民全体に  
広がっていくことを期待し  
ます。

なお、発表の原稿をまと  
めた冊子は、図書館に置い  
てあります。ぜひ一度ご覧  
ください。

### 【問合せ】

教育委員会(42) 3971

## 「税を考える週間」 税に関する作品 審査結果

毎年11月11日から17日ま  
での1週間は、「税を考える  
週間」です。

伊豆下田納税貯蓄組合連  
合会では、この週間に合わ  
せ、今年も小学生・中学生  
を対象に「税に関する作品  
(ポスター、習字、作文)」  
を募集しました。

今年、賀茂地区の小学  
校・中学校から習字の部に  
398点、ポスターの部に  
92点、作文の部に379点  
の応募がありました。

松崎町では、松崎小学校  
から習字の部に34点、松崎  
中学校から作文の部に17点  
の応募があり、審査の結果、  
下記のとおり入賞者が決定  
しました。

### 【問合せ】

窓口税務課(42) 3968

## 入賞作品

### 作文

下田市・賀茂郡租税教育  
推進協議会長賞

高橋 愛夢さん(松中3年)

### 習字

松崎町長賞

鈴木 萌水さん(松小6年)

松崎小  
六年 鈴木萌水  
役税割の

松崎町教育長賞

石田 雪乃さん(松小6年)

松崎小  
六年 石田雪乃  
役税割の



伊豆下田納税貯蓄組合連合会  
賞 松崎町

石田 愛さん(松小6年)

松崎小  
六年 石田愛  
役税割の

伊豆下田納税貯蓄組合連合会  
賞 松崎町

大胡田 美羽さん(松小6年)

松崎小  
六年 大胡田美羽  
役税割の



# 平成29年度 一般会計 上期執行状況

歳入

平成29年度の4月1日から9月30日までの一般会計の執行状況をお知らせします。

歳出

36億2,862万7千円 上段：予算額  
19億2,973万9千円 下段：収入済額( )：収入率(53.2%)

36億2,862万7千円 上段：予算額  
14億 410万9千円 下段：支出済額( )：支出率(38.7%)

地方交付税	15億1,266万6千円 10億8,722万3千円 (71.9%)
町 税	6億4,037万5千円 3億8,388万2千円 (59.9%)
国庫支出金	2億4,630万8千円 6,821万4千円 (27.7%)
県支出金	2億 858万円 1,359万9千円 (6.5%)
町 債	1億5,303万6千円 0円 (0%)
諸 収 入	1億3,991万1千円 4,841万円 (34.6%)
地方消費税 交付金	1億2,200万円 7,102万5千円 (58.2%)
繰越金	1億円 1億4,506万7千円 (145.1%)
使用料及び 手数料	6,477万円 2,180万7千円 (33.7%)
繰越明許費	6,091万9千円 6,014万9千円 (98.7%)
そ の 他	3億8,006万2千円 3,036万3千円 (8.0%)

民 生 費	8億3,546万6千円 3億6,819万6千円 (44.1%)
総 務 費	6億7,521万2千円 2億4,079万1千円 (35.7%)
衛 生 費	4億4,159万4千円 1億4,858万1千円 (33.6%)
公 債 費	3億1,348万4千円 1億3,423万円 (42.8%)
土 木 費	2億7,689万1千円 8,284万4千円 (29.9%)
消 防 費	2億4,710万8千円 1億2,485万4千円 (50.5%)
教 育 費	2億4,535万円 9,901万9千円 (40.4%)
農林水産業費	2億3,875万8千円 5,959万1千円 (25.0%)
商 工 費	2億2,123万5千円 7,585万6千円 (34.3%)
繰越明許費	6,091万9千円 4,524万7千円 (74.3%)
そ の 他	7,261万円 2,490万円 (34.3%)

## 町民1人あたりでは

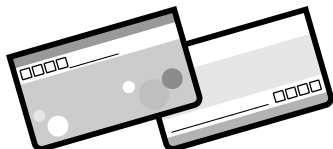
平成29年9月30日までに  
納めていただいた税金(町税) 約5万6千円

平成29年9月30日までに  
使ったお金 約20万5千円

## 9月30日現在の基金(町の貯金)と町債(町の借金)の状況

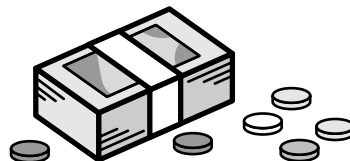
### ●町の貯金(財政調整基金等、15基金)

20億7,232万4千円  
町民1人あたり約30万2千円



### ●町の借金

32億6,696万9千円  
町民1人あたり約47万6千円



※1人当たりの値は、9月30日現在の人口6,862人で計算しています。

【問合せ】総務課 (42)3963

# 松崎高校広報く西豆と共にく

(連携型中高一貫教育)

生徒会長あいさつ

2年 久保田 暁あかり

(松崎中学校出身)



平成29年度後期生徒会長を務めさせていただくことになりました。

私は球技大会や双獅祭(そうしさい)等の学校行事を生徒の意見をより反映し、生徒が自主性を持って行事を運営していくことを目標に活動しています。先生方や生徒の皆さんの力をお借りして学校行事を作り上げ、松高とともに自身も成長していきたいと考えています。地域活動では、なまこ壁清掃を継続して地域の景観を守ってまいります。ご協力よろしくお願ひします。

新人戦東海大会に向けて  
陸上競技部

①種目、②県大会成績、③東海大会への意気込み

2年 小林 加奈

(松崎中学校出身・写真中央)

①女子砲丸投げ、②5位、

③自分の最高のパフォーマンスができるよう頑張ります。

2年 松田 汰生たいき

(松崎中学校出身・写真左)

①男子砲丸投げ、②5位、

③13メートルを超える記録を出したい。

1年 藤井 葵

(賀茂中学校出身・写真右)

①女子800m、②2位、

③自己ベストを出して入賞できるように最後まで一生懸命頑張ります。



## 創立記念講演

「命をとめないで」

くもう一度話をしたかったく

講師・朝比奈幹夫氏

(元NPO法人犯罪被害者支援センター理事)

本校卒業生で元警察官の朝比奈さんに、講演をしていただきました。

朝比奈さんはお子さんを交通事故で亡くしており、講演を通じて、親として、遺族として、加害者も被害者も出さない社会を望んでいることを生徒に伝えてくださいました。

【感想】2年 関 桃萌果ももか

(松崎中学校出身)

「命とは、使える時間である」という言葉が印象に残りました。交通事故で命(時間)を止めてしまう悲しさや悔しさを朝比奈さんの実体験を聞いて感じました。交通事故は、誰にでも起こりうることを改めて感じることができました。

【問合せ】

松崎高校(42) 0131

## 振興公社管理施設上半期実績

平成29年度上半期振興公社管理施設の実績は、伊豆まつぎ荘、三聖苑、かじかの湯以外の入館施設では、前年度に比べ、入館者が減少し、厳しい結果となりました。

伊豆まつぎ荘は、7月から休前日およびその他特定日の宿泊料金の値上げを実施しましたが、前年に比べ、宿泊者は154人増加、日帰り入浴や休憩(会食等)も前年に比べ増加しており、地元の皆様にも大変多くの方にご利用いただいております。

【問合せ】

企画観光課(42) 3964

今後、多くの皆様に伊豆まつぎ荘を利用していただけるよう、お客様に喜んでいただける企画の検討や、満足していただける対応を心掛けてまいります。

また、宿泊においては、町民割引制度の利用も多く、また、昨年9月から始めた「サイクリスト応援プラン」の利用も、徐々にあります。

平成29年度上半期振興公社管理施設の実績は、伊豆まつぎ荘、三聖苑、かじかの湯以外の入館施設では、前年度に比べ、入館者が減少し、厳しい結果となりました。

伊豆まつぎ荘は、7月から休前日およびその他特定日の宿泊料金の値上げを実施しましたが、前年に比べ、宿泊者は154人増加、日帰り入浴や休憩(会食等)も前年に比べ増加しており、地元の皆様にも大変多くの方にご利用いただいております。

【問合せ】

企画観光課(42) 3964

今後、多くの皆様に伊豆まつぎ荘を利用していただけるよう、お客様に喜んでいただける企画の検討や、満足していただける対応を心掛けてまいります。

また、宿泊においては、町民割引制度の利用も多く、また、昨年9月から始めた「サイクリスト応援プラン」の利用も、徐々にあります。

平成29年度上半期振興公社管理施設の実績は、伊豆まつぎ荘、三聖苑、かじかの湯以外の入館施設では、前年度に比べ、入館者が減少し、厳しい結果となりました。

伊豆まつぎ荘は、7月から休前日およびその他特定日の宿泊料金の値上げを実施しましたが、前年に比べ、宿泊者は154人増加、日帰り入浴や休憩(会食等)も前年に比べ増加しており、地元の皆様にも大変多くの方にご利用いただいております。

【問合せ】

企画観光課(42) 3964

今後、多くの皆様に伊豆まつぎ荘を利用していただけるよう、お客様に喜んでいただける企画の検討や、満足していただける対応を心掛けてまいります。

また、宿泊においては、町民割引制度の利用も多く、また、昨年9月から始めた「サイクリスト応援プラン」の利用も、徐々にあります。

## 平成29年度 上半期 施設利用状況

施設名	本年度(人)	前年度(人)	比較(人)	割合(%)	
伊豆まつぎ荘	宿泊	12,202	12,048	154	101.3
	入浴	2,984	2,522	462	118.3
	休憩	3,203	3,107	96	103.1
	小計	18,389	17,677	712	104.0
伊豆の館	入館	12,006	12,698	△692	94.6
重文岩科学校	入館	7,084	7,731	△647	91.6
明治商家邸	入館	5,974	6,120	△146	97.6
民芸館	利用	3,116	3,338	△222	93.3
道の駅花の苑	利用	13,290	12,838	452	103.5
	入浴	13,762	13,115	647	104.9

# My Town Topics ～まちのできごと～



## 田んぼをつかった花畑「種をまく人」

11月5日、「田んぼをつかった花畑」で種まきのイベントを行い、約60人の参加者で約8,000㎡の面積に種をまきました。昼食には、「ひまわり会」お手製のおにぎり等をいただきました。



## 棚田フェス in 棚田音楽祭

11月11日、雨天のため、旧三浦小学校体育館を会場に、「棚田フェス」が開催されました。音楽グループの出演のほか、餅つきや新米おにぎりの試食等、棚田の恵みを味わいました。



## 災害用備蓄飲料水の寄贈

11月14日、㈱大晃伊豆支店から松崎幼稚園と聖和保育園に、災害用の飲料水として、それぞれ240ℓを寄贈していただきました。



## 富士山ビューウォーキング

11月19日、「富士山ビューウォーキング」が開催されました。76人の参加者は、旧松崎港から雲見海岸を目指して歩き、ゴールでは海鮮汁等を堪能しました。

## 町政運営を振り返って

年の瀬を控え、町民の皆様におかれましては、何かとお忙しい日々をお過ごしのことと思います。

早いもので町長に就任してから2期8年の歳月が過ぎようとしています。就任当時、私はある本を読んでいると以下の文章が目にとまりました。

「まちづくりを自らの問題と捉え、これをどのように具体化するか。豊かな自然ときれいな空気、温暖な気候と温かい人情、これだけが売り物の時代は去った。未来を拓く創意とは個性ある地域づくりであり、地域の顔をつくることである。それには地域の埋もれた魅力を発掘し、住民自らが住むこの街を誇りとする意識を持つことである。地域づくりは誰のため

のものではなく、住民

のためである。今こそ行政と住民が地域活性化のための方策を真剣に考え挑戦する時である。」

この文章を読み、私は同じような考えを持った人がいるのだと思っていたところ、父親が書いたものだとなり、思わず笑ってしまったことを昨日のことのように思い出します。この父親の書いた文章を座右の銘とし、今日まで町政の舵取りを行ってきました。

今回、私は任期満了により町長職を退くことになりました。今後は一町民として町に誇りを持ち、地域活性化に挑戦する所存です。

町民の皆様には、永きにわたり、ご支援いただきましたことを深く感謝いたします。

松崎町長  
齋藤 文彦

## 町長室からこんにちは ⑨⑥





## キラリ、輝き人 No.36

### 「交通安全」を手作りの品に込める――

石田 しげ子さん（江奈）



石田さんは、これまで17年間にわたり、手作りのランドセル型のキーホルダーを作り、松崎小学校をはじめとした子どもたちに寄贈してきました。

この活動を始めたきっかけを聞くと、「手芸のテレビを見て、自分も作ってみよう」と思い、作り始めました。試作を作ってから、現在のデザインが決まりました。また、娘が子どもの頃、同じようにキーホルダーをもらってきましたが、当時は寄贈する人がなく、孫が小学校に入学するときから、小学生にプレゼントするようになり「ました」と話してくれました。キーホルダーの制作過



▲制作途中のパーツ

#### Profile

いしだ しげこ さん

町内大沢区に生まれ、現在は江奈区在住です。お嫁に来てから、女性会の活動で覚えた料理やお菓子作りの経験を生かして、何かを作っては近所の方にプレゼントすることが好きです。

程について聞くと、「4月頃から、作ってある型を基にパーツを作ります。それらを縫って原形を作り、綿を入れてビーズ等で飾ると完成です。作ること自体は大変ではありませんが、細かい作業なので、最近目は痛くなります」と話してくれました。

また、「子どもたちが喜ぶ姿を見たり、近所の子どもたち等が、『ありがとう』と言ってくれることがとても嬉しいです。時々、ランドセルに付けてくれている子どもたちを見かけますが、このキーホルダーは、洗濯ネットに入れて洗濯すると綺麗になるので、気兼ねなく使ってくれればいいと思います」と話してくれました。

今後については、「20年は活動を続けていきたいです。これからも子供たちが交通事故に遭わず、元気に過ごしてほしいと思います」と話してくれました。

### 青春のまち 松崎とともに

松崎町観光大使 白石康次郎

激動のレーススタートから1年になる。遥々松崎からもフランスまで応援に来ていただいた。また、松崎町内からフランスにお嫁に行っているご家族とお話できた。このレースで新しいご縁もいただき、フランスにいても松崎を感じる事ができた。

昨年のレーススタート前、船に3カ月分の食料を積む。これを担当してくれたのが松崎の細田栄作さんと斎藤公志郎さんである。昔、松崎を出港したころと何も変わっていない。報告会にお越しいただいた町民も昔のままである。確かに頭が白くなり年を重ねたが、あの時の情熱はいまだ心の奥底で燃えている。

松崎は僕の青春だった。西風の強い松崎の浜辺に立つと、厳しかったこと、辛かったこと、そして暖かったこと、優しくあったこと、すべてが思い出される。いつも初心に帰してくれる町である。

25年前、単独無寄港世界一周に命がけて挑戦した。2度の失敗の後、今度失敗したら生きて帰らないつもりだった。それを察したのか、岡村造船の岡村彰夫さんが「生きてさえいれば何度でもチャレンジできるんだぞ」と、優しく諭してくれた。

出港には必ず岩地からシーカヤックで駆けつけてくれる松崎町長の姿があった。朝もやの中、手を振ってくれたあの光景は決して忘れない。私の夢はこれからも続いていく。ヨットレースを通して日本の子供たちを明るく元気で前向きにしていきたいと思っている。まだまだこれからである。

いつか新艇でまたこの松崎に帰ってきたいと切に願っている。

町の人口と世帯

(平成29年10月31日現在)  
( )内は前月比

総人口	6,849人	(-13人)
男	3,251人	(-9人)
女	3,598人	(-4人)
世帯数	2,996戸	(-4戸)
転入	7人	転出 10人
出生	2人	死亡 12人

(10月届出分)  
戸籍だより



おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
山口	和日南	女	土田貴久
雲見	美結	女	土屋龍馬

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
峰	佐藤政行	79	ハツエ
石部	大石つや子	83	孝 広
雲見	高橋房雄	88	郁 雄
江奈1	船津英江	90	今 夫
江奈1	船津今夫	91	藤井寿賀
江奈2	簾田みつ	98	正 男
西区	端山重一	94	千枝子

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

町の交通事故

平成29年10月発生分

( )内は前年同月比

人身事故	0件	(-3)
物損事故	9件	(-2)
死者	0人	(±0)
傷者	0人	(-3)

【問合せ】健康福祉課(42) 3966  
※このコーナーは偶数月に掲載します。



ひろと  
山内 寛人くん  
(江奈2)



かいり  
鈴木 湊くん  
(江奈2)



ひなと  
米山 日向翔くん  
(西区)



みなと  
鈴木 湊人くん  
(雲見)

ピカピカ  
キッズ



3歳児健診で「虫歯」が  
なかったお子さんを  
紹介します。

「石部の灯り～ウィンターイルミネーション～」

今年も棚田をLEDでライトアップする「石部の灯り～ウィンターイルミネーション」を開催します。

【開催日時】 12月9日(土)～2月4日(日)  
16:30点灯開始、21:00消灯予定

【会場】 棚田「交流棟」より海側の田んぼ

【その他】  
・駐車場は、棚田展望台  
駐車場か旧三浦小学校  
をご利用ください。  
・駐車場から会場までの  
道は暗いので、懐中電  
灯等をお持ちください。

【問合せ】 企画観光課  
(42) 3964



松崎文芸

— 短 歌 —

沈丁花目立たぬ樹形に季くれれば

ま白き小花百に余れり

石田安江

大安も仏滅もなし老いの日の

無事に過ぎるを最良とする

中村宣子

祖父母があり父母に子供が五人ゐて

九人家族の昔が恋し

飯野ふさ

グラウンドに見る青空の深ければ

ゲームの合間も心うばはる

堀岡洋子

暑さ中を真向かふがごと山畑の

雑草引きに出かけゆきたり

山本智恵子

広報まつり

二〇一七年十一月一日発行  
通刊 第六四三三号

千四〇三六六 静岡県賀茂郡松崎町宮内三〇一ノ一  
五〇五〇四二一三九六四 五〇五〇四二一三二八三

発行 静岡県松崎町 編集 企画観光課  
印刷 (株)山本印刷